本音のコラム

都教委無責任体制

斎藤（さいとう） 美奈子（みなこ）

「コロナ禍でも『君が代』都教委が指示」

二十日の特報面の記事である。東京都教育委員会（都教委）は先日も、校則でツーブロックを禁止している都立高校があるのは「外見などが原因で事故や事件に遭うケースがあるため」と説明し、日本中をあきれさせたばかりである。都教委って誰なのよ、実名を出しなさいよ、実名を。

調べてみました。教育長は先のツーブロック問題で答弁に立った藤田裕司氏。都政畑をずっと歩いてこられた方のようである。五人の委員は遠藤勝裕氏（整理回収機構監査役）、山口香氏（元柔道選手・大学教員）、宮崎緑氏（元ニュースキャスター・大学教員）、秋山千枝子氏（小児科医院院長）、北村友人氏（比較教育学・大学教員）。

この方たちが会議を開いて「ツーブロックは禁止でよし」「コロナ禍でも国歌を斉唱しろ」と決めたのだろうか。

君が代の件で「適切だった」と答えているのは桐井裕美主任指導主事。都教委事務局の職員である。先般の都立校の一斉休校は教育長の職権で進められ、委員の合議には諮られなかった。

議事録を見ると、いつも事務方が議題を出し、委員が他人（ひとごと）事みたいな意見を述べて了承して終わり。これじゃほとんど名ばかり教委だ。都側のやりたい放題になってもおかしくない。教委の権威は絶大なのに、どうなのそれは。（文芸評論家）

2020.7.22